

# 8 卷末資料

- |               |      |
|---------------|------|
| 8-1 新設特殊工具    | 該当なし |
| 〔1〕 エンジン      | 該当なし |
| 〔2〕 トランスミッション | 該当なし |
| 〔3〕 ボデー       | 該当なし |
| 8-2 点検整備方式    | 90   |
| 8-3 サービスデータ   | 100  |
| 8-4 給油脂図      | 102  |

- 1) 運行前点検項目の判定基準は自動車使用者に周知徹底を図る。
- 2) 「●」印は法規で義務付けられた点検時期を示し、「○」印は富士重工業(株)で推奨することを示す。
- 3) 「☆」印は保安部品の定期交換を示す。その交換時期は一般走行する不特定多数の車を対象に定めてある。  
従って著しく走行条件の異なるものは、これに準拠して交換する。
- 4) 「※」印は初期点検のみを示す。(※1は初期1カ月時、※3は初期3カ月又は5000km時点検を示す。)
- 5) 「高速走行」とは80km/h以上の速度で走行する場合をいう。

点 檢 整 備 項 目		点 檢 整 備 時 期							判 定 基 準	備 考			
		運 行 前	自 家 用	事 業 用 等	単 位	6 か 月 每	12 か 月 每	24 か 月 每	1 か 月 每	3 か 月 每	12 か 月 每		
か	ハンドル	遊び、緩み及びがた				●	●		●	●	●	遊びは直進状態にてホイール外周でM: 0~25mm P: (エンジンON時) 0~25mm M: マニアル P: パワステ を示す。	
	操作具合					●	●		●	●	●	※3	
じ	ギヤ・ボックス	油漏れ				●		●	●	●			
		取付の緩み				●		●	●	●			
		軸受部のがた							●				
		ギヤのバックラッシュ							●			ラック・ピニオン式	
取	ロッド及びアーム類	緩み、がた及び損傷				●	●		●	●			
		ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂及び損傷				●	●		●	●			
		連結部の摩耗及び取付状態							●				
		ナックル・アームの亀裂及びナックルとの取付状態							●				
装	ナックル	連結部のがた				●		●	●				
	かじ取り車輪	ホイール・アライメント					●		●	●		トーンイン 1 ± 3 mm	
												キャンバ 1° ± 45	
												キャスター 3° 50' ± 1°	
置		左右の回転角度					●		●	●		内 側 36° 25' + 1° 30' - 2° 30'	
												外 側 33° 10' + 1° 30' - 2° 30'	

## 点検整備方式

点 檢 整 備 項 目		点 檢 整 備 時 期						判 定 基 準	備 考
		運 行 前	自 家 用	事 業 用 等					
かじ取り装置	パワーパンク・ステア	6か月毎	12か月毎	24か月毎	1か月毎	3か月毎	12か月毎	千 km	
制動装置	ブレーキ・ペダル	遊び及び踏み込んだときの床板とのすき間	●	●	●	●	●	●	(1)遊び 1~3mm (2)踏力約20kgで踏込時 床板とのすき間110mm以上
	踏みしろ及びきき具合	●							
	ブレーキのきき具合	●	●	●	●	●	●	制動力 後輪和軸重の20%以上 各輪左右差軸重の8%以下 総和検査時車両重量の50%以上  注) 前軸の全ての車輪がロックし計測困難な場合は、その状態で総和に対し適合するとみなす。	
装備	駐車ブレーキ・レバー	引きしろ	●	●	●	●	●	●	操作力 20kgのとき 引きしろ 7~9ノッチ 全ストローク 17ノッチ
	ブレーキのきき具合		●	●	●	●	●	制動力 車両重量の20%以上 操作力 50kg以下	
	ラチエット部の摩耗及び損傷					●			
置	ロケットブル及び類	緩み、がた及び損傷			●		●	●	
	ホース及び	漏れ、損傷及び取付状態	●	●	●	●	●	●	※1
リザーバンク	液量	●	●	●	●	●	●	●	液面レベル MAXラインとMINラインの間にあること

## 点検整備方式

点 檢 整 備 項 目		点 檢 整 備 時 期						判 定 基 準	備 考
		運 行 前	自 家 用	事 業 用 等	単 位				
		6 か 月 每	12 か 月 每	24 か 月 每	1 か 月 每	3 か 月 每	12 か 月 每	千 km	
制	マ イ ン シ ナ デ ィ シ リ ン グ 及 び デ イ ス ク ホ イ ー ル シ リ ン グ			● ●					
	ホイール・シリンダ及びディスクキャリパの液漏れ								
倍 力 装 置	機能、摩耗及び損傷			●		●			
	機能			●					
動 装	油密及び気密					●			
	ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間		● ● ● ● ●						自動調整式
	ブレーキ・ドライブ・シャフト及びブレーキ・ドライブ・シューの摺動部分及びライニングの摩耗		● ●	● ●				標準厚さ 使用限度	4.4mm 1.7mm
置	ブレーキ・ディスクの摩耗及び損傷		●		●			標準径 使用限度	180.0mm 182.0mm
	バック・プレートの状態				●				
	ディスクとパッドとのすき間		● ●	● ●					
走 行 装 置	パッドの摩耗		● ●	● ●	● ●	※3		標準厚さ 使用限度	9.0mm 1.5mm
	ディスクの摩耗及び損傷		●		●			標準厚さ 使用限度	18.0mm 16.0mm
	フロント・アクスルの損傷及び変形					●			
走 行 装 置	リア・アクスルの損傷及び変形					●			

## 点検整備方式

点検整備項目		点検整備時期							判定基準			備考	
		運行前	自家用 6か月毎	自家用 12か月毎	事業用等 24か月毎	事業用等 1か月毎	事業用等 3か月毎	事業用等 12か月毎					
走行インジケーター	タイヤの空気圧	●	●	●	●	●	●	●	(単位: kg/cm <sup>2</sup> )			( ) 内はV-KS3・V-KS4型を示す。	
	タイヤの亀裂及び損傷	●	●	●	●	●	●	●	タイヤ仕様	前輪	後輪		
	タイヤの溝の深さ及び異常な摩耗	●	●	●	●	●	●	●	5.00-12-4PR ULT	2.2 (1.8)	(2.4)		
	タイヤの金属片、石その他の異物	●	●	●	●	●	●	●	5.00-12-6PR ULT	—	3.0		
	ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み			●	●	●	●	●	145R12-6PR LT 135/95R12 79/ 77L LT	2.2	3.0		
	リム及びホイール・ディスクの損傷			●					145SR12	2.2	2.2		
	リム、サイド・リング及びホイール・ディスクの損傷				●	●	●		155SR12	2.0	2.2		
	フロント・ホイール・ベアリングのがた			●		●	●		T125/70D14	4.2			
	リヤ・ホイール・ベアリングのがた			●			●						
	損傷			●		●	●						
緩衝装置	左右のたわみの不同						●						
	取付部の緩み及び損傷				●								
	取付部(ブラケット部を除く。)の緩み及び損傷					●	●						
	連結部のがた			●			●						
	ブラケットの取付けの緩み及び損傷						●						
サスペンション	連結部のがた及びアームの損傷				●			●					
	油漏れ及び損傷			●		●	●	●					
ショック・バッフル	取付部のがた			●		●	●	●					

## 点検整備方式

点 檢 整 備 項 目		点 檢 整 備 時 期						判 定 基 準	備 考
		運 行 前	自 家 用	事 業 用 等	単 位				
運 行 前	6か月毎	12か月毎	24か月毎	1か月毎	3か月毎	12か月毎	千 km		
動 力 伝 達 装 置	クラッチ	ペダルの遊び及び切れたときの床板とのすき間	● ● ● ● ● ●	※1	遊び 10~25mm 切れたときの床板とのすき間 90mm以上	MT車のみ			
	トランク・ミッション	作用	● ● ● ● ●	※1		※ 1は MT車のみ			
電 気 装 置	プロペラ・ドライブ・イシブ・シャフト	油漏れ及び損傷	● ● ● ● ●	※1	MT車：フィラ・プラグ穴下端から0~5mmの間にあること ECVT車：レベルゲージの上限~下限目印線の間にあること	※ 1は漏れのみ			
	アクスル・シャフト	操作機構のがた	●	●					
電 气 装 置	デンプシャーレル	連結部の緩み	● ● ● ●	※1					
	デンプシャーレル	自在継手部のダスト・ブーツの亀裂及び損傷	● ● ● ●						
電 气 装 置	デンプシャーレル	スパライン部のがた	●	●					
	デンプシャーレル	自在継手部のがた	●	●					
電 气 装 置	デンプシャーレル	プロペラ・シャフトの振れ		●	0.6mm以下	4WD車のみ			
	デンプシャーレル	アクスル・シャフトのねじれ及び亀裂		●					
電 气 装 置	点火装置	油漏れ及び油量	● ● ● ● ●	※1	フィラ・プラグ穴下端から0~5mmの間にあること	※ 1は漏れのみ 4WD車のみ			
	点火装置	点火プラグの状態	● ● ● ● ● ●		プラグ・ギャップ 1.0~1.1mm				
	点火装置	点火時期	● ● ● ● ● ●	※1 ※3	(単位: BTDC° / rpm) スーパチャージャ車 4/800 NA パワステ無MT車 6/800 NA MTパワステ車 6/850 NA ECVT車 6/900	NAはキャブレータを示す			
	点火装置	断熱器の状態	● ● ● ● ●	※1 ※3	ポイントギャップ 0.4~0.55mm	接点式のみ			
	点火装置	ディストリビュータのキャップの状態	● ●						
	点火装置	進角装置(遅角機構を含む。)の機能	● ●			キャブレタ車のみ			

## 点検整備方式

点 檢 整 備 項 目			点 檢 整 備 時 期							判 定 基 準	備 考
			運行前	自家用 6か月毎	自家用 12か月毎	事業用等 24か月毎	事業用等 1か月毎	事業用等 3か月毎	事業用等 12か月毎		
電気装置	バッテリ	液 量		●	●	●	●	●	●	液面レベル 上限～下限印線の間にあること	
		液の比重			●	●		●	●	液温20°Cのとき 比重 1.240～1.280	
		ターミナル部の接続状態		●	●		●	●			
	電気配線	接続部の緩み及び損傷			●	●	●	●	●	※1 ※3	
原動機本体	エンジン	かかり具合及び異音		●	●	●	●	●	●		
		低速及び加速の状態		●	●	●	●	●	●	アイドリング回転数(単位: rpm) スーパーチャージャ車 ..... NA パワステ無MT車 800 NA MTパワステ車 850 NA ECVT車 900	NAはキャブレータを示す
		排気の状態		●	●	●	●	●	●		
		エア・クリーナ・エレメントの状態		●	●	●	●	●	●		
	ターボ	シリンダ・ヘッド及びマニホールド各部の締付状態							●	締付けトルク シリンダ・ヘッド(冷間) 3.5～4.0kg・m マニホールド 吸気 1.5～1.7kg・m 排気 3.0～5.0kg・m	
		圧縮圧力							●	(単位: kg/cm <sup>2</sup> -rpm) 圧縮圧力限界 4CyL	( )内は スーパーチャージャ車を示す
									●	9.8-300 (8.3-300)	
	機関	弁すき間						●	●	(冷間) 吸 気 0.15mm 排 気 0.20mm	
		油の汚れ及び量		●	●	●	●	●	●	レベル・ゲージのF～L間にあること	
		油漏れ			●	●	●	●	●	※1	
潤滑装置	オイルの量		●								

## 点検整備方式

点 檢 整 備 項 目		点 檢 整 備 時 期							判 定 基 準	備 考
		運行前	自家用 6か月毎	自家用 12か月毎	事業用等 24か月毎	事業用等 1か月毎	事業用等 3か月毎	事業用等 12か月毎	単位 千km	
原動機	燃料装置	燃料漏れ			●	●	●	●	●	※1
		キャブレータのリンク機構の状態			●		●	●		キャブレタ車のみ
	冷却装置	スロットル・バルブ及びチョーク・バルブの状態			●		●	●		
		燃料の量	●							
有害ガス等	冷却装置	水量	●	●	●	●	●	●	リザーバ・タンクのF～L間に あること。	
		水漏れ	●	●	●	●	●	●	※1	
	ラジエータ・キャップの機能			●	●	●	●		開弁圧 0.8～1.0kg/cm <sup>2</sup>	
ばい煙、悪臭のあるガス、有毒なガス等の発散防止装置	ブガス還元バイ・装置	配管の損傷			●		●			
		配管等の損傷			●		●			
	燃料蒸発ガス	チャコール・キャニスターの詰まり及び損傷			●		●			
		チェック・バルブの機能			●		●			
	一酸化炭素等の発散防止装置	触媒反応方式等排出ガス減少装置の取付けの緩み及び損傷			●	●	●	●		
熱害防止装置	配管の損傷及び取付状態				●	●	●	●		
	熱害防止装置	遮熱板の取付けの緩み及び損傷			●	●	●	●		
		灯火方向指示器及び	作 用		●	●	●	●	●	※3
		点滅具合、汚れ及び損傷	●							

# 点検整備方式

点 檢 整 備 項 目	運 行 前	点 檢 整 備 時 期							判 定 基 準	備 考
		自家用 6か月毎	自家用 12か月毎	事業用等 24か月毎	自家用 1か月毎	事業用等 3か月毎	自家用 12か月毎	事業用等 千km		
警音器、窓拭き装置、洗浄液噴射装置及びスクリーンクリーニング装置	作 用		●	●		●	●			
後及反射鏡及び鏡反	写影の状態	●								
反射器番号及び登録番号	汚れ及び損傷	●								
計器	作 用		●	●	●	●				
エト及びキ・ゾ・マ・ト・イ・フ・ス・プラ	取付けの緩み及び損傷		●	●	●	●				
	マフラーの機能			●		●				
車体及び車体	ドア・ロックの機能			●	●	●				
	緩み及び損傷			●	●	●				
座席	座席ベルトの状態			●		●				
前日の運行が認められたいたりれたる箇所に異常がない事を確認	当該箇所に異常がない事を確認	●								
その他の	シャシ各部の給油脂状態		●	●	●	●	●			

# 点検整備方式

## ■ メーカ推奨項目

点 檢 整 備 項 目			点 檢 整 備 時 期							判 定 基 準	備 考		
運 行 前	自 家 用	事 業 用 等	走 行 の キ ロ 整 備 千 km	交 時 换 期 年 每									
	6か月毎	12か月毎	24か月毎	1か月毎	3か月毎	12か月毎							
リ・ザ・ターン・バク	ブレーキ液の交換								2 (1)		( )内は事業用等		
保動	マスター・シリンダ、ホイール・シリング及びディスク・キャリパのゴム部品の交換								☆ 2 (1)		( )内は事業用等		
安裝	ブレーキ・ホースの交換								☆ 4 (2)		( )内は事業用等		
部	倍力装置ゴム部品の交換								☆ 4 (2)		( )内は事業用等		
置	倍力装置バキューム・ホースの交換								☆ 4 (2)		( )内は事業用等		
動力伝達装置	トランス・ミッション・オイルの交換							40					
	カーボン・ブラシの摩耗			○		○			摩耗限界マークまで	ECVT車のみ			
デング・フジ・アヤ・レル	ギヤ・オイルの交換							40		4WD車のフロント・デファレンシャルのみ			

# 点検整備方式

点検整備項目		点検整備時期										判定基準	備考
		運行前	自家用 6か月毎	自家用 12か月毎	事業用等 24か月毎	事業用等 1か月毎	事業用等 3か月毎	事業用等 12か月毎	走行の 毎の整備 口備 千km	交換期 年毎			
電気装置	点火プラグの交換								10				
充電発電機	ベルトの緩み及び損傷		○	○	○	○	○	○	※1		ベルトの中央部を約10kgの力で押したときのたわみ 11~13mm [ 7~9 mm ] [ 5~7 mm ] [ 4~6 mm ]	[ ]内は スーパーチャージャ エアコン無車を示す ( )内は NAエアコン車を示す { }内は スーパーチャージャ エアコン車を示す	
原体	エア・クリーナ・エレメントの交換								20	1			
	タイミング・ベルトの緩み		○	○			○	※1					
	タイミング・ベルトの交換									4			
	スーパーチャージャの油量点検			○			○					スーパーチャージャ車のみ	
	スーパーチャージャ・ベルトの緩み及び損傷		○	○	○		○	○			ベルトの中央部を約10kgの力で押したときのたわみ 6~8 mm	スーパーチャージャ車のみ	
潤滑装置	オイル・フィルタの交換								10				
	エンジン・オイルの交換								10 (5) [5]	0.5		( )内は SC級オイル使用の場合を示す [ ]内はスーパーチャージャ車を示す	
燃料装置	フューエル・フィルタの交換								20	1			
冷却装置	冷却液の交換								40	2			
保安部品	フューエル・ホースの交換								☆ 4 (2)			( )内は事業用等	

<b>&lt;エンジン&gt;</b>			<b>キャブレータ (NA)</b>	<b>SC</b>	
	キャブレータ (NA)	SC	オルタネータ	出 力 12V-45A 調整電圧 14.5V	
エンジン型式	ENO 7 C	ENO 7 Y	スタータ	出 力 (kW) 日本製: 0.65 三菱製: 0.65, 0.75	
排気量 cc	658		サーモスタット	開き初め温度°C 78 開き終り温度°C 93	
内径×行程mm	56.0×66.8		エンジンオイル油量 ℥ 3.0(MT) 3.1(ECVT)		
最高出力PS/rpm (ネット)	40/6500	55/6200	Vリブドベルト のゆるみ mm/10kg	ACG 9~11/10 (11~13/10) 7~8/10 (7~9/10)	
最大トルクkg·m/rpm(ネット)	5.5/3500	7.1/3800		ACG+A/C 5~6/10 (5~7/10) —	
圧縮比	9.8	8.3		SC — 6~8/10 (7~9/10)	
圧縮圧力kg/cm <sup>2</sup> /rpm	11.3/300	9.8/300	アイドルCO濃度 1.5%以下		
シリンダヘッド歪み限度 mm	0.05		アイドルHC濃度 1000ppm以下		
シリンダヘッド研摩限度 mm	0.10		<b>&lt;トランスミッション&gt;</b>		
シリンダブロック歪み限度 mm	0.05				
シリンダブロック研摩限度 mm	0.15				
スパークプラグ	NGK: BKR6E-11, BKR5E-11 K20PR-U11, K16PR-U11		2 WD		
スパークプラグキャップmm	1.0~1.1		ギヤオイル量 (トランスミッション) 1.8		
イグニッション コイル	1次コイル抵抗	1.2Ω	0.9Ω	セレクティブ: 2.0 デフロック付: 2.1 フルタイム : 2.2	
	2次コイル抵抗	26KΩ	10KΩ		
	コンデンサ	0.25μF	0.47μF		
	外付抵抗	1.7Ω	—		
点火時期BTDC° /rpm	6/800(MT, パワステ無) 6/850(MT, パワステ有) 6/900(ECVT車)	4° /800	ギヤオイル量 (フロントデフ) 0.8ℓ (フリーアクスル付: 0.9ℓ)		
バルブ クリアランス	インテーク	ECVTフルード量 2 WD: 2.7~3.0ℓ 4 WD: 3.9~4.2ℓ			
	エキゾースト	40ℓ			
ヘッドボルト 締付トルク(冷間)	4° /800		2 WD	4 WD	
3.0kg-mで締付後一旦ゆるめ 2.0kg-mにて締付後、更に90° 締付ける。 [参考]この時締付トルクは3.5~4.0kg-mの範囲になる。		フューエル ポンプ 吐出量 ℓ/h	NA 15	—	
マニホールド 締付トルク (冷間)	インテーク	0.15(冷間)	SC 95		
	エキゾースト	0.20(冷間)	ラジエータキャップ 開弁圧 kg/cm <sup>2</sup>	正圧側 0.9±0.15	
				負圧側 -0.05以下	
マニホールド 締付トルク (冷間)	インテーク	1.6±0.1kg-m	ブレーキ ペダル	遊び 1~3mm	
	エキゾースト	3.5±0.5kg-m(本文参照)		床下とのすき間 110mm以上	
		遊び 10~25mm			
		床下とのすき間 90mm以上			

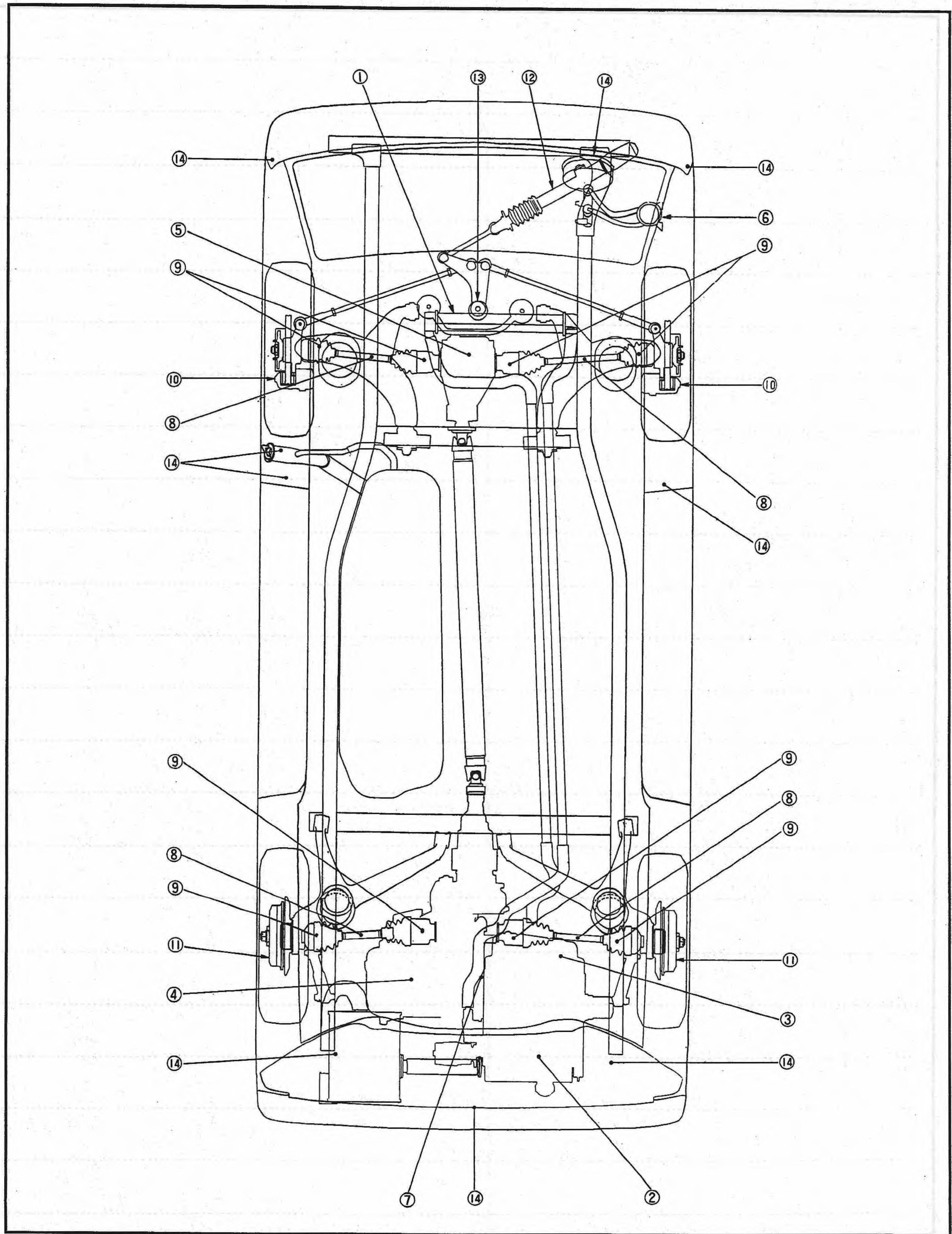
## サービス データ

		2 WD	4 WD
フロント ホイール アラメント	トイン	IN I ± 3	
	キャンバ	1° ± 45'	
	キャスタ	3° 50' ± 1°	
リヤ ホイール アラメント	トイン	IN I ± 3	
	キャンバ	0° 50' ± 45'	
アクスルナット締付トルク		18kg-m	
ホイールサイズ		12×4.00B	
ホイールナット締付トルク		8~10.0kg-m	
ハンドルの遊び		0~25mm	
舵 角	内 側	36° 25' + 1° 30' - 2° 30'	
	外 側	33° 10' + 1° 30' - 2° 30'	
フロントディスク の厚さ mm	標 準	18mm	
	限 度	15.5mm	
フロントブレーキ パッドの厚さ	標 準	9 mm	
	限 度	1.5mm	
ライニング厚さ	標 準	4.4mm	
	限 度	1.7mm	
ドラム内径		180mm	
ブレーキレバー	操作力	20kg	
	引き代	7~9 ノッチ	
バッテリ型式( )は 5時間率容量を示す	一 般	26A17R (12V-21Ah)	38B20R (12V-28Ah)
	寒冷地	38B20R (12V-28Ah)	

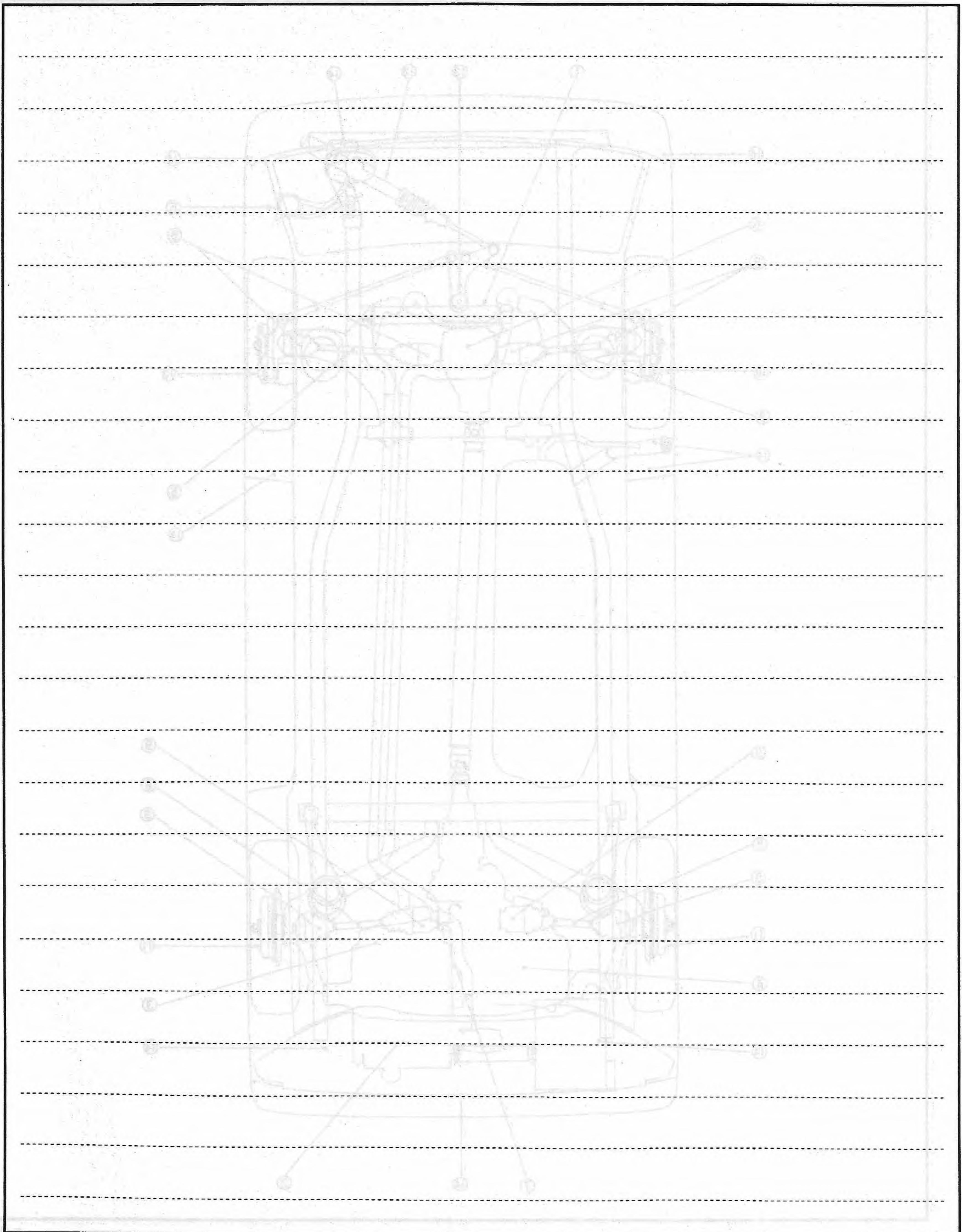
No.	給油個所名		油 脂 名	備 考
1	ラジエータ		冷却水	スバル純正クーラント
2	エンジン		エンジンオイル	スバルモータオイル ◎HG(SE級) ◎4WD(SF級) ◎スーパー(SE級) ・レッド(SD級) ・ゴールド(SD級)
3	スーパーチャージャ		スーパーチャージャオイル	通常はオイル量点検
4	トランスミッション	MT	トランスミッショノイル	スバルギヤオイル エクストラー75/80
		ECVT	トランスミッションフルード	スバルECVTフルード
5	フロントデファレンシャル		フロントデファレンシャルオイル	トランスミッションオイル(MT)に同じ
6	ブレーキ		ブレーキフルード	スバル純正ブレーキフルードS
7	トランスミッション メインシャフトスライド部		グリース	FX2200クラッチグリース
8	アクスルシャフト ベアリング&オイルシール		グリース	シェル6459N
9	BJ DOJ	グリース	モリレックスNo.2 またはサンライトTB 2-A	
			SSG-6003	
10	ブレーキ	ホイールシリンダ	グリース	ニグループRX-2 ピストンブーツ内
		パッド	グリース	PBCグリース パッドとサポートの摺動部 パッドとシムの接触面
11	ドラムブレーキ シューとバックプレートの接触面		グリース	ブレーキグリース (ダフコーニング:モリコート7439)
12	ステアリングギヤボックス		グリース	バリアントグリースM2
13	ギヤチェンジレバー摺動部		グリース	出光ダフニコロニクスNO.2
14	その他 ペダル摺動部、リヤゲートヒンジ、ドアヒンジ、ドアチェック、エンジンフードロック部、フューエルフィラリッド		グリース	サンライト2号 オートレックスA コパコート

## 給油脂図

OM311



## MEMO



## **MEMO**

**MEMO**

**MEMO**

# MEMO

—関連資料—

SAMBAR 整備解説書 上巻	'90-3	G7271A
SAMBAR 整備解説書 下巻	'90-3	G7272A
SAMBAR 新型車解説書 概要編	'90-3	U7272A
SAMBAR 新型車解説書	'90-3	U7271A
SAMBAR 電子制御装置 トラブルシューティング マニアル	'90-3	P7271A
SAMBAR 電気配線図表	'90-3	X7271A
SAMBAR 新型車解説書 整備 解説書(LPG車)	'90-7	U7273A

A-4.0-106

1991年9月 発行 1版

禁複製・転載

——実費890円——

(消費税は含まれておりません)

編集・発行 **富士重工業株式会社**

東京都新宿区西新宿一丁目7番2号

問い合わせ先：国内営業本部国内サービス部  
サービス教育課





富士重工業株式会社

G7281A